

ニュース

区役所移転・鷺沼再開発を考える

NO6 2022年12月11日発行
宮前区を考える会
連絡先 猪俣博
☎080-6758-4252【部内資料】

鷺沼駅前再開発が再始動

川崎市が住民説明会(12月22日午後6時半～ 鷺沼小学校)

準備組合の計画見直し踏まえ、再開発の手続き再開

見直し計画が明らかに

11月24日、川崎市議会のまちづくり委員会で、この間、鷺沼再開発準備組合がすすめてきた鷺沼再開発事業の検証(見直し)結果がまとまり、その結果を踏まえて、川崎市として、12月から再開発事業の手続きを再開するとの報告がありました。

まちづくり委員会に報告された準備組合の検証結果の主な変更は、次の通りです。

①新たに北街区に小ホールをつくる②屋上ひろばの設置③タワーマンション、バスターミナルがつくられる駅前街区と区役所が予定されている北街区を地下通路と、3階デッキでつなぐ④大ホールの入り口を鷺沼駅側から南側に変え入口を広くとる⑤2階に鷺沼駅から南北に貫通道路をつくる⑥タワーマンションの形状を長方形から四角形に変える——などです。

変更点には、駅前街区と北街区の通行を安全・スムーズにする3階デッキや小ホールの設置、風害を減らすタワーマンションの形状変更など住民の要望が、一部、部分的に

取り入れられています。しかし、タワーマンション建設、狭い開発地域に大規模開発を進めるために生じる交通渋滞問題、風害や日照など住環境破壊の根本問題は、依然未解決のままです。

住民の声を反映した鷺沼駅前再開発をもとめる運動は、これからが正念場となります。

運動の成果に確信をもって

「宮前区を考える会」(宮前区役所移転反対・鷺沼駅前再開発を考える会)は、2019年から運動を開始して、宮前区全体で区役所移転・鷺沼問題のチラシ4万枚を2回、8万枚配布し、「元区役所の存続と2つの市民館・図書館の設置、鷺沼駅前再開発とタワマンの見直しを求める署名」を川崎の陳情署名では画期的な1万筆以上集め、住民の要望を市議会・川崎市に伝えてきました。

この取り組みが、準備組合に部分的な要求実現ですが、住民要求を反映した一部計画見直しをせざるを得なくなりました。

また、私たちの運動とコロナ禍もあって、再開

鷺沼駅前地区再開発事業概要説明会に対する要望書

宮前区のまちづくりにおける公共機能検討会議様
川崎市まちづくり局様

2022年12月9日

宮前を区を考える会 事務局長 猪俣博

1. 事業説明会の日時・場所を再考してください。
鷺沼駅前地区再開発事業は鷺沼地区だけの問題ではなく、区役所、市民館、図書館の移転を伴う宮前区全体の問題です。そのため12月22日、鷺沼小学校で予定されています説明会は、宮前区の一般住民が参加しづらい夜間で、しかも宮前区の端になっています。再考をお願いします。
2. 日程的に説明会の日時、場所が変更できない場合は、再度、宮前区の中心地、宮前市民館ホールなどで、昼間に事業説明会を開いてください。今後、オープンハウス型説明会も予定されていますが、それは地域整備推進課による説明が想定されます。責任ある立場の方々に直接聞く機会を宮前区全体で再度開いていただけるように要望します。そのため、開催日時が23年1月以降に延期されることもやむをえないと思います。
3. 今回の事業説明会と再度開く事業説明会にも、鷺沼再開発の中心調整機関と思われ「宮前区のまちづくりにおける公共機能検討会議」と開発をする事業者「鷺沼駅前地区再開発準備組合」並びに事務方である「まちづくり局市街地整備部」の三者が主催者側として参加されることを要望します。 以上

発計画のスケジュールも当初計画より大幅に遅れ、4年以上遅れることになりました。

多くの方が説明会に出席を

川崎市は、準備組合からの報告を受けて、12月22日午後6時30分から、鷺沼小学校で住民説明会を開きます。しかし、この

説明会には、大きな疑問点、問題点があります。宮前区の会は、そうした点をただす要望書(別紙)を川崎市に提出しました。こうした問題点を考えるとともに、鷺沼駅前再開発にかかわる住民の要望・要求を川崎市に伝えるために、説明会に多くの方が参加するよう、呼びかけるものです。